

自主防災という考え方

未曾有の被害を出した東日本大震災で、助かった人々のキーワードとなった言葉は『津波てんでんこ』です。これは三陸地方に伝わる津波防災伝承で、言い換えると『自分で』『めいめいに』責任を持って高台に逃げなさい、つまり『自主防災』『自分の身は自分で守れ』という教えです。巨大地震やそのあとの大津波には、いつどこで遭遇するか全くわかりません。家や家族から離れて、一人でいるときに起こるかもしれません。どんなに不安や恐怖におそわれても、できるだけ冷静さを保って、とにかく高台に逃げることできた人は命が助かっています。私たちもこのことを肝に銘じておきたいものです。